



# 青嵐



特集4

留学生通信  
交換留学生からの報告

8

特集3

成績優秀者表彰制度の創設  
北方キャンパス

7

特集2

地域創生学群を中心とした取り組みが  
文部科学省モデル事業に採択

5

Vol.20



公立大学法人

北九州市立大学 学報

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU INFORMATION SEIRAN

発行日/2010年3月31日 発行元/北九州市立大学広報入試課

題字：阿南 惟正 理事長筆

特集1

新入生への  
サークル紹介

1



10

◆会議開催 入試広報レポート  
会議開催状況  
入試状況について  
スカラシップ入試制度の創設

◆経営審議会委員からひと言  
岡田 修三 委員

9

◆おしらせ  
学生表彰  
学生の地域活動  
卒業延期特例措置について  
学生定期健康診断

# 特集 1

# もつと 広がる人の輪 もつと 充実キャンパスライフ 新入生サークル

新入生のみなさん、北九州市立大学へようこそ！

慣れないことや初めてのことが目白押しの毎日だと思いますが、ぜひサークルに入会してください。きっと見たこともない世界や、一生を左右するような出会いが待っていますよ。



## 学生団体 応援団・チアリーダー部

こんにちは！応援団チアリーダー部です。私たちはイベントや練習中、どんなときでも「**団結・礼儀・服装&元気☆勇気☆笑顔**」をモットーに活動しています。主な活動内容は、大学の野球応援や地域の夏祭りでの演技など、大学内外を問わず様々なところで活動しています。また、応援団のメインイベントである演舞会やチアリーディング選手権大会などにも出場しています。とにかく行事が盛りだくさんで、いろいろな人とも触れ合える部活なので、充実した大学生生活を送れますよ。

実は、私たち応援団部員は全員初心者から始めました。そのため今まで運動経験がなかった方や、新しいことを始めようかなど考えている方でも何も心配はいりません。私たちと一緒に、たくさんの方々にエールを送りませんか(^^)。もちろん経験者も大歓迎です。主に体育館で練習をしているので、少しでも興味がある方は、ぜひ遊びに来てください。

★団長 松田 駿 福岡県/有明高专出身      ★チアリーダー部キャプテン 脇岡 千穂 山口県/下関南高校出身

私たち演劇研究会は1年生6名、2年生7名の計13名で活動しています。主な活動内容は、とにかく演劇です。春・夏・冬と年3回公演を行っており、日々公演の準備に励んでいます。

演劇といっても役者だけでなく、裏方として舞台装置や小道具を作ったり、音響や照明を操作したりと結構本格的です。大変なところもありますが、皆で一つの舞台を作り上げるのは勉強にもなり、とても楽しいものです。部員も個性的な人が多くて面白いですよ(笑)。

2009年度は、夏は学内で、冬はホールを借りて上演しました。春の新入生歓迎公演は、学内で行います。約15分～30分の公演なので、ぜひお気軽にいらしてください。

また、新入部員を随時募集していますので、興味がわいた方は、サークル会館2階の演劇研究会部室までどうぞ！

★代表 塩津 順子 福岡県/宗像高校出身



## ピアノ会

ピアノ会には現在男女15名の部員が所属しています。

主な活動内容として年2回の演奏会、月1回のミニコンサートを学内で開催しています。特定の活動日はなく自由に部室で練習し、部員それぞれのペースで活動を行っています。経験は問わず、ピアノをずっと続けているという部員もいれば、ブランクがあったり、大学に入って始めた人もいます。音楽のジャンルは自由でクラシック、ポピュラー、映画・ドラマ・ゲーム主題歌など好きな曲に取り組み、演奏会に向けて練習を重ねています。

毎年7、12月に学内で行う演奏会は入場無料で、来場された方には毎回ご好評をいただいています。より多くの方に楽しんでいただける演奏会にすることを部員一同目指しています。

ピアノ会の活動に興味をもたれた方は、見学や演奏会にお気軽にお越しください。

★代表 内田 千秋 福岡県/ひびき高校出身

- 第2部
- アコースティック部
- PECC
- II部軽音楽FLASH
- エンジェル楽団
- 都道府県研究会
- II部バスケットボール部
- II部バトミントン部
- II部バレーボール部
- II部フットサル部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- ラクロス部
- 航空部
- 馬術部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 自動車部
- 山岳部
- 応援団・チアリーダー部
- 山岳部
- 自動車部
- サイクリング部
- ワンダーフォーゲル部
-

# のみなさんへ ルに入りませんか〜

## 北方キャンパス編



ハンドボール部 (RKB「探検!九州」取材時)



### 生涯学習研究会「学び舎」

皆さん、こんにちは！

私たち生涯学習研究会「学び舎」は毎週水曜日に活動をしています。どのような活動をしているかという点、「戦後の混乱など様々な要因によって文字の読み書きに不自由をしてきた方々の勉強を手伝うこと」ですが、簡単に言うと、「いくつかになっても勉強したいよー！」とやる気になっておられる地域の方々のお手伝いがしたい、というサークルなのです。もちろんボランティアです。

地域の方々と交流が持てるのは純粋に楽しいですし、毎週一生懸命勉強している皆さんを、微力ながら応援出来ることに大いにやりがいを感じます。雰囲気はいつでもアットホーム！そんなサークルです。

それでも実際見ていただかなければ本当のところは伝わらないかな、と感じるので、少しでも興味のある方はいつでも私たちのところへどうぞ！

★代表 橋本 大将 宮崎県/延岡星雲高校出身

少林寺拳法を始めて、大学生活を充実したものにしませんか。  
私たち少林寺拳法部は新入部員を募集しています。部員のほとんどが初心者で「運動部の経験がない」という人も大歓迎です。アルバイトとの両立も可能ですし、長期の休みもあるので、自分のための時間も確保できます。  
また、男女仲良く練習も一緒に行っており、他学部・他学年の学生とも交流できることが大きな魅力の一つです。共に汗を流し、かけがえのない仲間になりましょう。  
少しでも興味をもたれた方は、是非道場まで足を運んでみてください。  
きっとあなたのお心は虜になるはずです。  
皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

★主将 松尾 雄太 佐賀県/伊万里高校出身



### 少林寺拳法部



### 中国言語文化研究会

こんにちは。中国言語文化研究会です。私達は週4日昼休みの時間に活動しています。

このサークルは中国語の暗誦大会に出場したり、中国の様々な文化を調べ、プレゼンテーション大会へ行ったりといった活動をしています。また、毎年私達のサークルが主催して、「五星奨」という中国語の暗誦大会を開催しています。この大会に関連して、春休みに中国の各地を訪れる五星奨ツアーという旅行もあり、とても楽しく中国に対する知識が深まるサークルです。外国語学部中国学科以外の学生も参加しているので、少しでも興味のある方はぜひ一度サークルに遊びに来てください！

★代表 村岡 愛梨 福岡県/京都高校出身

- 文科系
- Jazz研究会 K&K
- 軽音ナイフ
- ピアノ会
- 軽音楽 WIND FALLS
- 吹奏楽団
- 放送研究会
- マンドリンクラブ
- 混声合唱団コール・ユフオー
- アカペラの森
- E.S.S.(米英研究会)
- 中国言語文化研究会
- 囲碁・将棋部
- 映画研究会
- 演劇研究会
- 茶道研究会
- 写真部
- 美術研究会
- 落語研究会
- ワークキャンブ
- 漫画研究会
- SF研究会
- 大道芸愛好会
- 生涯学習研究会 学び舎
- 北九州ボランティアリーダー
- インテリア研究会 クリシウム
- 映像制作集団 ロマンダム
- 会計学研究会
- 現代社会研究会
- 文芸研究会
- 古文書研究会
- 法学研究会
- 民俗学研究会
- 心理学研究会
- ユースホステル愛好会
- ラテンアメリカ研究会
- 考古学研究会
- パン研「chair」
- 模擬国連

北方キャンパス  
学生団体  
&  
サークルリスト

北方キャンパス編 のつづき……



サイクリング部

こんにちは。サイクリング部です。現在は3年生が引退して、部員15名で活動しています。主な活動としては、シーズン中の週3回の練習、大会への参加などがあります。

きついというイメージがあるかもしれませんが、そんなことはなく女子でも気楽に活動できるところが魅力です。

昨年の成績としては、英彦山サイクルタイムトライアルでMTB（マウンテンバイク）部門3位というのが主なものですが、今年度は精力的にレースに参加していきたいと思っています。アルバイトや他文化部との兼部はもちろんOKなので、気軽に部室を訪ねて下さい。

今年度からは、マネージャーも募集しています。是非、大学生活はサイクリング部で有意義に過ごしましょう！

★主将 星野 佑承 福岡県/九州国際大学付属高校出身

私たち北九大ラグビー部は今年で創部63年目を迎えます。現在部員数はマネージャーも含め18名と少数ですが、日々の学生生活の充実と自身の成長のために活動を行っています。所属リーグは九州学生3部リーグですが、昨年は2部入れ替えトーナメントに福岡1位で進出しましたが、残念ながら負けちゃい2年ぶりの2部リーグには昇格できませんでしたが、今年もリーグの全勝優勝と2部昇格を目標として活動していきます。経験者はもちろん未経験者、女性のマネージャー、それから大学で新しい友人を作りたい人など、新入生の入部を心よりお待ちしております。少しでも気になったら、学内で青いジャージを着た学生に声をかけてください。少々仏頂面やしらかめ面をしている部員が多いですが、皆気持ちのいい奴らですので是非。お会いできることを楽しみにしています。

★主将 島田 康史 鹿児島県/大口高校出身



ラグビー部



陸上競技部

こんにちは！北九大陸上競技部です。私たちは現在、短距離13人、長距離7人、マネージャー3人の合計23名で日々活動に励んでいます。部員は多いとは言えませんが、全員がそれぞれの目標を持ち、インカレや駅伝などの大会で好成績を残そうと頑張っています。練習グラウンドはコースが8レーンある非常に恵まれた環境で、練習時間も週6日と充実した活動を行っています。また、チームの雰囲気も明るいので毎日楽しく練習できます。

大学でも陸上を続けようと思っている経験者の方ももちろん、未経験者の方も大歓迎です。地味で練習もきついスポーツですが、頑張った成果はタイムといった形で必ず現れるスポーツなので努力すればどんどん速くなれます。また陸上は生涯にわたって楽しめるスポーツでもあり、実際にOBの方々の中には、卒業後も記録会やマラソンなどの大会に参加されている方も多くいます。限られた時間の中での多忙な大学生活ではありますが、興味を持たれた方は青嵐グラウンドに見学に来てください。新しい仲間と会えるのを楽しみに待っています。

★主将 尾方 栄将 熊本県/人吉高校出身



写真部



柔道部



放送研究会

# ひびきのキャンパス編



## ダンスサークル

私たちダンスサークルは、練習日・練習時間が特に決まっていません。好きな時間に好きな仲間と集まって体育館やジムで練習します。毎週月・水・木の19時～22時は体育館を借りているので、みんなで集まって練習することも多いです。初心者の方でも優しい先輩が教えてくれるので安心です。

次にダンスサークルの年間行事についてです。

毎年2回ひびきのダンスサークル主催のREAL STYLEというイベントがあります。キャンパス内にて、他大学のダンサーも募って計20前後のチームが発表会を行います。夏にはサークルのキャンプもあります。そしてダンスサークルといえば大学祭です。ひびきのキャンパスの大学祭のみだけでなく他大学で行われる大学祭にも出場します。昨年も大学祭では、多くのコンテストで優勝を収めました。

以上のようにダンスサークルは他大学とのかかわりが深いサークルです。友達が学内だけでなく北九州または他県にまでできます。みんなで楽しく踊るのもよし、コンテストにでて本気で優勝目指すもよし、いろんなダンサーがいます。ただみんな音楽に酔いしれて踊るのが大好きです。ダンスサークルはそんな音楽と踊りが大好きな人たちが集まるサークルです。

★部長 森口 大樹 宮崎県/宮崎工業高校出身

バスケットボールサークルは、火曜日と金曜日の週2回、18時から22時まで活動しています。参加人数は男子45名、女子20名で、バスケットボール初心者から経験者まで、一緒に練習をしています。

現在は北九州地区の大会に、年2回程度出場し、日々の練習の成果を試しています。昨年は、「北九州・下関地区大学体育大会」に参加し、男子が3位入賞を果たしました。

今年は、更に新しい大会にも挑戦していこうと思っています。

バスケットボールを楽しむことはもちろんのこと、それ以外の活動にも力を注いでいます。例えば、バレーボールサークルとの合同B B Qやキャンプ、スキー・スノーボード旅行など他にもたくさんのイベントがあります。

バスケットボールサークルは、大学生活をより一層充実させるお手伝いができるサークルなので、興味を持った方は是非一度見学に来てください！

★部長 緒方 潤 大分県/雄城台高校出身



## バスケットボールサークル



## 軽音楽サークル

私たちひびきの軽音サークルは、大学院生を含め約90名で楽しく仲良く活動しています。活動内容は、主にボーカル、ギター、ベース、ドラム等のパートに分かれてバンドを結成し、部員全員で集まってライブを行います！！私たちのサークルでは、ポップス、ハードコア、メタル、パンク等の様々なジャンルのバンドが活動しています。なので、自分の好きなジャンルの音楽を演奏することができます！！

ライブは約月1回のペースで行っており、学内だけでなく、他大学とジョイントライブを行ったりもしています。どのイベントもかなり盛り上がり楽しいですよ！(^^)！ また「今まで楽器なんて弾いたことない」という初心者の方でも大歓迎です！！大学から楽器を始めた部員が多くいるので、全く心配ないですよ。この春から新しい楽器に挑戦してみませんか！？そして、音楽に少しでも興味がある人は、軽音サークルに入部して、ROCKしていきましょう(^^)♪

★部長 大津留 慶輔 大分県/別府鶴見丘高校出身

- 卓球サークル
- ひびきの空手道部
- 卓球サークル (fresh mccc)
- ひびきの自動車部 (陸上)
- HI-BIKI-NORC (HTC)
- バドミントンサークル
- ひびきのテニスサークル
- 水泳サークル (水民KID)
- バレーボールサークル (ハリ坊's)
- バスケットボールサークル
- ひびきの
- フットサルサークル
- ひびきのダンスサークル
- ひびきの
- 芸術系
- 茶道サークル (茶・cha・なでしこ)
- 野球サークル
- 剣道部
- サッカーサークル
- ソフトテニス
- ひびきの
- フットサルサークル
- ひびきのダンスサークル
- ひびきの
- バスケットボールサークル
- ひびきの
- プラスハンドサークル
- 文科系
- 祇園太鼓サークル 「ひびきの」
- ギターサークル
- 軽音楽サークル
- ひびきの

ひびきのキャンパス  
学生団体  
&  
サークルリスト

# 地域創生学群を中心とした取組みが 文部科学省モデル事業に採択



地域創生学群を中心とした取組みが、平成21年度「大学教育・学生支援推進事業 [テーマA]」大学教育推進プログラムに採択されました。以下に取組みの全体像を提示します。

## ●大学教育・学生支援推進事業【テーマA】 大学教育推進プログラムの目的

(文部省WEBサイトより抜粋)  
各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、各大学等における学士力の確保や教育向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的として実施します。

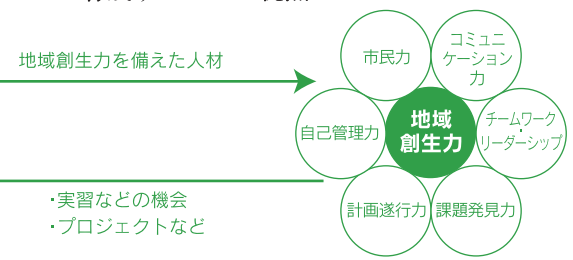
## ○採択された事業の概要

- 1 名称: 地域創生を実現する人材育成システム
- 2 期間: 平成21年度～平成23年度
- 3 申請額: 約5,900万円(3ヶ年合計)
- 4 申請状況: 申請649件のうち96件採択

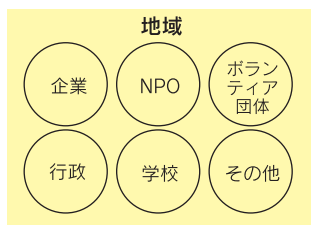
## 地域創生を実現する人材育成システム



地域課題を創造的に解決できる人材を育成する3つの視点



本取組では、地域の教育資源を取り込んだ新しい教育システムを構築することで『**地域創生力** (地域の再生と創造を担う人材に必要な能力)』を身につけ、様々な地域課題を創造的に解決できる人材を育成することを目的としています。『地域の「再生」と「創造」を担う人材の育成』を理念として掲げる地域創生学群を中心として、学生の『**地域再生力**』を育成する教育システムを『**I. 教育プログラム構築によるサポート**』『**II. 学生の自己開発支援**』『**III. 教員のスキルアップと学生サポート体制強化**』の3つの方向からの施策を講じることで効率的に展開します。そして、実践力を備えた人材を地域に送り出します。



## I. 教育プログラム構築によるサポート

### 🌱 演習・実学と座学を 連動させたカリキュラム

講義だけでなく演習、実習を1年次から複合的に展開し、実践的な知識を深めていくカリキュラムを構築しています。初年次には「指導的実習プログラム」を義務付けることで、多様な価値観、協働の難しさ、自己能力に対する認識、社会的マナーの体得、地域とのネットワーク構築などを学びます。また、演習では、「地域創生基礎演習A」においてディスカッションの方法、情報倫理、マナー講習、ポートフォリオによるセルフマネジメント、などを取り入れ「指導的実習プログラム」を補強しながらも、学びのエッセンスと方法を習得します。

	1年次	2年次	3年次	4年次
カリキュラム	地域創生基礎演習A・B	地域創生基礎演習C・D 相談援助演習1・2	地域創生演習A・B 相談援助演習3・4	地域創生演習C・D 相談援助演習5
地域創生フォーラム				卒業論文 卒業実習・実践報告
地域	指導的実習プログラム	地域創生実習A・B スポーツボランティア実習Ⅰ 障害者スポーツ実習Ⅰ	地域創生実習C・D スポーツボランティア実習Ⅱ 障害者スポーツ実習Ⅱ 相談援助実習	

## 地域創生フォーラムの開催

演習と実習の接続を強化するために「地域創生フォーラム」を開催します。まちづくりや福祉、スポーツ等の分野で活躍されている地域の実践家を招き、それぞれのテーマの現状や課題、これからの展望等をお話いただくとともに、学生が実習成果を発表する機会を設けます。

2月21日(日)に北九州国際会議場において、「第1回地域創生フォーラム」が開催されました。東国原英夫宮崎県知事をお招きし、「どげんかした宮崎から学ぶ」と題して基調講演をいただきました。地域が主体性をもって地域活性に取り組むこと、またそれを支える行政との連携の重要性を、笑いを交えながらお話いただきました。その後、地域創生学群の学生が1年間取り組んできた「実習」の報告を行いました。約500名の地域の方にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。



# 「地域創生を実現する人材育成システム」

—平成21年度「大学教育・学生支援推進事業[テーマA]」大学教育推進プログラム—

## II. 学生の自己開発支援

### KSP (Kitakyu Sousei Portfolio) の導入

学生は自己の活動と連動してKSPを活用することで、地域創生力向上の目標や正課・正課外活動をアーカイブし、達成度の自己点検を行うなど、地域創生力の開発をセルフマネジメントします。各年次終了時には振り返りを実施し、翌年次の計画を立て、PDCAサイクルを展開することで自己開発力を涵養します。また、「プランニングコーチ」を配置して、学生の実践活動やKSPの運用をサポートし、学生の地域創生力開発を促進します。

#### 学生の活動

- 教員の面談  
→地域創生力レベルチェック  
→地域創生力向上目標設定  
→活動計画策定
- 地域創生力向上活動  
→演習・実習  
→ボランティア活動  
→インターンシップ
- 評価・披評価  
→基礎力・レベルチェック  
→自己評価(→他学生評価)  
(→教員評価)(→実習先評価)
- 教員との面談  
→年間振り返り  
→地域創生力向上確認  
→次年度プレビュー

#### Plan(計画)

#### Do(実行)

#### Check(評価)

#### Action(振り返り)

地域創生力レベル別行動例、地域創生力レベルチェックシート、地域創生力シラバスチェック、地域創生力向上活動一覧、目標設定シート

活動トピックシート

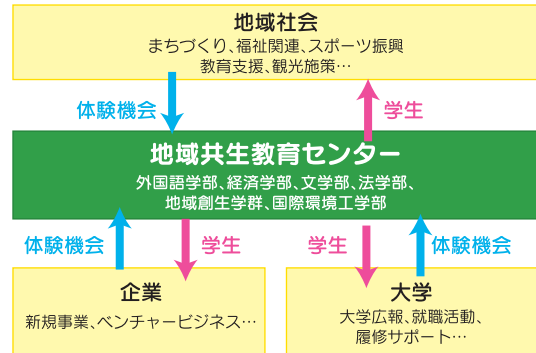
地域創生力レベルチェックシート

振り返りシート

#### KSPによるマネジメント

### 地域共生教育センターを活用した体験学習

学生へ多様な「現場」経験を提供するため、「地域共生教育センター」を設置します。地域からのボランティア等の要請に応じていくと同時に、全学部の学生に「現場」での学びの機会を提供します。センターには「社会体験コーディネーター」を配置し、学生の社会体験機会を開拓するだけでなく、紹介していただいたボランティア活動が学生にとって教育的な効果をうむようにサポートします。また、学生が主体となってセンターの運営に関わることで、センターの運営自体を社会体験機会として提供します。地域社会への展開として、商店街の空き店舗等をセンターの分室として活用し、他大学の学生や高校生、一般社会人など、多様な人材がボランティア精神を持って社会参加するような地域の雰囲気醸成を拠点となることを目指します。



## III. 教員のスキルアップと生徒サポート体制強化

### 地域創生Tips データベースの構築

地域創生力開発に寄与する教授法を集めて、各教員が授業の中で自由に活用できる地域創生力開発授業「地域創生Tips」データベースを構築します。また、このデータベースは、教員が新たに開発したTipsも随時加えながら充実を図り、座学、演習、実習と全ての授業科目において地域創生力の開発につながる授業を展開します。

### 教員ポートフォリオ

「学生カルテ」と「教員自己開発計画」からなる教員ポートフォリオを導入します。「学生カルテ」は、学生一人ひとりの現状を書き留め、学生の成長を見守ります。「教員自己開発計画」は、各教員の年間目標を設定し、教員自身がセルフマネジメントできるツールとなっています。

## 取組による達成目標

### 具体的な数値目標を設定

地域の教育資源を大学内に取り込んでいくという目標を実現するために、学生、教員、教育システムそれぞれに具体的な数値目標を設定し、教育効果を高めていきます。

目標の明確化	学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全ての地域創生力レベルが4以上の学生比率が1年目30%、2年目40%、3年目65%、4年目90%以上</li> <li>●全学年(通常枠)がテンポラリースタッフを含むボランティア活動に年間4テーマ以上必ず参加する</li> </ul>
	教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各教員が年間4Tipsが使えるようになる</li> <li>●地域創生学群全教員が参加する学生支援スキルの向上に資する研修を年間2回実施する</li> </ul>
	教育システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の教育資源を大学に取り込む「地域創生フォーラム」を年間2回以上実施する</li> </ul>

「hoop!」(フープ)は地域創生学群が発行する地域発見マガジンです。学生たちが学生目線で地域の様々なトピックを取り上げています。企画、取材、撮影、原稿執筆は学生の手で行いました。

「学生成果報告書」は地域創生学群の学生が1年間取り組んできた「指導的実習プログラム」の成果をまとめたものです。原稿を執筆したのは実習を体験した学生です。原稿を執筆することで、自分が行ってきた取組を振り返ることができました。

お問い合わせは地域創生学群資料室  
(電話093-964-4085)まで。

# 成績優秀者表彰制度の創設について

今年度より、平成19年度に導入した新カリキュラムの対象学生について、GPA等を利用した成績優秀学生の表彰制度を実施します。

この制度は、原則として3年終了時までの累積GPAを基本に、各学部で決定された成績の優秀な3年終了時の学生を表彰するものです。

今年度は下記の21名が表彰の対象となり、3月16日(火)に表彰式が行われました。矢田学長より、賞状と記念品が渡されました。



## ◆表彰者名簿

表彰対象者数 21名

学部	学科	氏名
外国語学部	英米学科	吉村 理一
		山崎 悠
		池田 恭子
	中国学科	野村 かおり
		石井 慶子
		前田 実花
	国際関係学科	伊藤 彩
		伊藤 洋子
		宮平 千華
経済学部	経済学科	中山 裕野
		替地 幸佑
		山下 謙
	経営情報学科	田村 寿宏
		光本 加野子
		宮崎 正寛
法学部	法律学科	木村 泉絵
		勘木 康子
		加藤 沙織
	政策科学科	高橋 広光
		坂井 優太
		川越 雅俊

## ◆受賞者のコメント



外国語学部  
英米学科3年  
吉村 理一

北方キャンパスでは、今までこのような賞はなかったので、大学から「成績優秀者に選ばれました」と連絡があった際、何のことかよく分かりませんでした。しかし、授賞式で学長に賞状と記念の盾をいただき、大変名誉ある賞を頂いたのだと実感が湧いてきて、今は光栄に感じています。入学してから、「自分は社会で通用する人間に成長できているだろうか」と不安に思うこともありましたが、自分の努力してきた結果が今回の表彰につながったのだと思います。

授業には、「ただ座っているだけでは意味がない。折角、長時間参加するのだから、何かしら自分で自分の知識を増やそう、力をつけよう」という態度で臨むようにしています。高校までのように板書がない授業もあるので、自分で判断して必要があればメモを積極的に取るようにしています。また、専門分野の一環で語学を学んでいるのですが、入学当初より、その学習した先にあるビジョンを見据えながら取り組んでいます。単に「聴ける、話せる、書ける、読める」というのではなく、言語の裏側に潜む文化についても理解し語ることが出来るようにし、これらを教育の分野で生かして子供たちに何かしら夢を与えられるような教育者、指導者になりたいと思います。これからも今まで以上の努力を積み重ねると同時に、大学卒業時に「充実した濃い4年間だった」と実感できるよう精進していきたく思います。



北九州市立大学から海外の協定校に留学している学生の皆さんはどのような生活を送っているのでしょうか。体験してみないとわからない生の情報を現地から送っていただきました。



左端が西崎さん



## オックスフォードブルックス大学での留学生活

外国語学部英米学科2年 西崎 祐理

交換留学生としてイギリスのオックスフォードブルックス大学に派遣されて5か月ほど経ち、こちらの生活にも慣れてきました。今なお新鮮な毎日を送っています。

海外生活の経験が全くなかった自分にとって、最初ここイギリスに来たときには右も左も分からずこれからどうなるだろうという感じでした。喋ること・聞くことに慣れていなかったということもありますが、自分の英語に自信があった分その自信もそがれましたね。言いたいことは言えないし相手と言っていることも理解できないという理由で、コミュニケーションをとるのも一時期乗り切っていなかったというか、あまり自分からすすんで声を掛けたりしようとは思いませんでした。しかし、ここオックスフォードブルックス大学は海外からの留学生の受け入れが盛んな大学で、そのためイギリス以外の国籍を持つ人も多く見られます。そのような人達の中には自分と同じ状況にいる人たちも居て、そのような人達と会うことで自信を取り戻せたりやる気を出したりすることができたりしました。

この大学は留学生の受け入れが盛んではありますが、現地の学生との交流も多くあります。私は現在 Japan Society と Dance Society の2つのサークルのような団体に所属しています。Japan Society は留学生として来ている多くの日本人と日本語を勉強している学生の多くが所属する団体で、週1度の language exchange というアクティビティーや不定期

に行われているパーティーなどのイベントに参加することで交流を図っています。また Dance Society には自分以外日本人はいないので、そのような環境に身を置くことでダンスのみならず英語力にも一層磨きをかけています。自分としては講義よりもそのような日常からいろいろなものを吸収しているという感じなのですが、それでも講義には出席しないといけないので…(笑)。

多くの講義はメインキャンパスである Headington Campus という、多くの学生が住む寮からも近く施設も整っているところで行われます。オックスフォードブルックス大学はこの他にも2つのキャンパスがあるのですが、それらはメインキャンパスからバスで30分ほどかかるところにあるため、それらで行われる講義に対してのやる気はそれだけで少し失われますね…。講義の形式としては、メインの講義と少人数で行われるセミナーと呼ばれるものが基本的にセットになっているので、日本のものと比べるとかなり双方向的なものとなっていて、また課題の量や講義の予習として読んでくる本の量も日本のものより断然多いです。講義についていくのは半年ほど経った今でも大変ですね。

今回の留学生活も残すところ3か月となりましたが、これからの過ごし方次第で良いものにも悪いものにもなるでしょう。後悔しないようこれからも毎日を充実した刺激の多い日々に行けるよう努力していきたいと思えます。



### オックスフォードブルックス大学

1865年、美術学校として創立。1970年にオックスフォード工芸学校となり、1992年に大学となる。イギリスで初めてモジュラー制 (Modular Degree ※「単位」を積み重ねることで学位を取得する制度の代表的なもの。希望する専攻に合わせて学部横断的に科目を履修することが可能な場合もある。) を取り入れた大学である。オックスフォードの街を見下ろす丘陵地にメインキャンパスをもつ。歴史学、美術・建築・デザイン史の分野の研究で高い評価を得ている。生物化学、開発環境学、都市・国家計画、人類学、政治学、国際研究の評価も高い。学部は、人文・建築・生物・経済・教育・工・保健・法律社会学の8つ。学生数は、約13,000名、留学生数は約1,000名を受け入れている。

## 平成 21 年度学生表彰



平成 22 年 3 月 9 日 (火) 13:00 ~ 13:20、本館 E-702 会議室にて、「平成 21 年度学生表彰式」が開催されました。受賞者は下記のとおりです。

### 【団体】法学部政策科学科 榎原ゼミ

所 属：法学部政策科学科 榎原ゼミ  
業 績：公共政策フォーラム 2009in 多治見  
大学生による政策コンペ  
→日本公共政策学会会長賞を受賞

内 容：平成 21 年 10 月 17 日、多治見市産業文化センター（岐阜県多治見市）において、「公共政策フォーラム 2009in 多治見・大学生による政策コンペ」が開催され、全国 17 大学 20 チームが参加する中、最優秀賞である日本公共政策学会会長賞を受賞しました。

### 【個人】木山 由佳（きやま ゆか）

所 属：外国語学部 外国語学科 中国語専攻 3 年（中国言語文化研究会）  
業 績：2009 年度五星奨 - 中国語コンテスト スピーチの部  
→中国駐福岡総領事最優秀特別賞を受賞  
第 8 回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト  
→最優秀創意奨を受賞

内 容：5 月下旬に九州産業大学にて開催された「2009 年度五星奨 - 中国語コンテスト・スピーチの部」にて中国駐福岡総領事最優秀特別賞を受賞しました。

7 月 9 日～8 月 7 日に中華人民共和国湖南省長沙市で実施された「第 8 回『漢語橋』世界大学生中国語コンテスト」に出場。60ヶ国 112 名が参加する中、最優秀創意奨（独創性に富んだスピーチを賞賛する賞）を受賞しました。

### 【個人】浅川 優太（あさかわ ゆうた）

### 【個人】河野 鉄平（かわの てっぺい）

所 属：[浅川] 経済学部 経済学科 3 年（卓球部）  
[河野] 経済学部 経済学科 3 年（卓球部）

業 績：第 49 回全国国公立大学卓球大会  
男子ダブルス  
→第 3 位

内 容：平成 21 年 8 月 13 日～16 日に滋賀県立体育館で開催された「第 49 回全国国公立大学卓球大会」に出場し、男子ダブルスにおいて 60 大学 464 ペア中、3 位になりました。

## 日舞で地域に貢献 日本舞踊部

私たち日本舞踊部は、2008 年 5 月に発足、現在 10 名の部員で月に 2 度、佐賀県鳥栖市から先生をお招きしてお稽古をしています。

活動としては、地域のお祭りや留学生交流会への出演や老人福祉施設への訪問などです。

大学に隣接する“ケアハウスことぶき”へは、同窓会のご紹介で訪問し今回で 3 回目になります。お年寄りの方々に何度も「ありがとう」と言って頂けるので、“日本舞踊をしてよかったな”と心から思えます。

これからも日本舞踊を通して、地域の人たちとの交流を深めながら、笑顔の輪を広げていきたいと思っています。

日本舞踊部部长 西村 直夏



## 卒業延期特例措置

景気低迷の影響により雇用情勢は厳しさを増しており、新規卒者についても企業が採用を控えるなど厳しい状況になっています。こうしたことから、本学では、就職先が決まっていない学部 4 年生で平成 21 年度に卒業に必要な単位を全て修得した者が、就職活動等を行うため平成 22 年度の在籍を希望した場合に卒業延期を認める特例措置を実施します。

### 【卒業延期期間】

1 年間（平成 23 年 3 月卒業）

※卒業延期者が希望した場合、平成 22 年 9 月に卒業することもできます。

### 【授業料】

年間の規定の額の 1/4

※第 1 期が規定の額の 1/2 を減額し、第 2 期は、全学免除。

## 学生定期健康診断

平成 22 年度学生定期健康診断の日程は下記の通りです。

日付	受付時間	対 象
4月6日(火)	10時～19時	新4年生・大学院生
4月7日(水)	10時～19時	新3年生
4月8日(木)	10時～18時	新2年生
4月17日(土) (全学年予備日)	10時～18時	新入生・大学院生・未受診者
4月18日(日) (全学年予備日)	10時～18時	新入生・大学院生・未受診者

※出来るだけ自分が所属する学年の日付で受診してください。ただし、どうしても都合が悪い場合は、他学年の日付でも受診可能ですので、必ず受診してください。

※日程等が変わる可能性もありますので、学内掲示板等で詳細を確認してください。

# 入試広報REPORT

■北九州市立大学 平成22年度一般選抜入学試験 出願状況

確定志願者数

学部	学科	区分	前期			後期			
			募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率	
外国語学部	英米		72	235	3.3	10	209	20.9	
	中国		44	244	5.5	6	178	29.7	
	国際関係		50	177	3.5	10	153	15.3	
経済学部	経済	(4教科)	62	(37)	139	3.8	10	160	16.0
		(3教科)		(25)	100	4.0			
	経営情報	(4教科)	62	(37)	257	6.9	10	78	7.8
		(3教科)		(25)	124	5.0			
文学部	比較文化		70	237	3.4	10	137	13.7	
	人間関係		40	163	4.1	10	104	10.4	
法学部	法律		100	321	3.2	15	150	10.0	
	政策科学		40	137	3.4	10	83	8.3	
地域創生学群	地域創生	通常枠	35	790	24.2				
		夜間特別枠	若干名	58					
国際環境工学部	エネルギー循環化学		25	61	2.4	10	192	19.2	
	機械システム工		25	89	3.6	15	275	18.3	
	情報メディア工		42	174	4.1	20	397	19.9	
	建築デザイン		32	93	2.9	7	105	15.0	
	環境生命工		20	64	3.2	20	607	30.4	
合計			719	3,463	4.8	163	2,828	17.3	

## ■スカラシップ入試制度の創設について

北九州市立大学では、優秀な学生の確保及び入学時の学費負担の軽減を図るため、一般選抜入試成績の上位者に対して入学金を減額する制度(スカラシップ入試制度)を創設します。

### 1 制度の内容

入学金を1/2に減額します。

#### 市外居住者

通常423,000円→対象者211,500円

#### 市内居住者

通常282,000円→対象者141,000円

### 2 減額対象者

一般選抜の前期・後期日程別、学科別、入試区分別に選考し、各区分の募集人員に対し入試成績の上位者10%とします。合計で90名程度になる見込みです。

### 3 制度の期間

平成22年度入試から、当面3年間とします。

## 会議開催

### ●第15回経営審議会●

平成22年3月16日(火)北九州市立大学本館にて開催されました。

#### 議案

- ①平成22年度計画(案)について
- ②平成22年度予算(案)について

### ●教育研究審議会●

#### 第111回 平成22年1月12日(火)

- 【議案】①教員の採用について  
②平成22年度計画(案)について  
③成績優秀者学生表彰制度について

#### 第113回 平成22年2月16日(火)

- 【議案】①教員の採用について  
②特任教員等の選考について  
③昇任選考委員会の設置について  
④都市政策研究所長及びキャリアセンター長の選考について  
⑤地域共生教育センターの設置について  
⑥各種委員会等の委員の選出について  
⑦平成21年度後期学友会交渉申入書回答(案)について  
⑧認証評価結果案への対応について  
⑨学部規程等の改正について

#### 第112回 平成22年1月26日(火)

- 【議案】①教員の採用について  
②昇任人事の方針について  
③卒業延期特例措置について

#### 第114回 平成22年3月2日(火)

- 【議案】①教員の採用について  
②平成22年度計画(案)について  
③学生表彰について  
④平成21年度後期学友会交渉申入書の回答について  
⑤平成22年度教育研究審議会の構成について

#### 第115回 平成22年3月9日(火)

- 【議案】昇任選考委員会による選考結果の審議について

#### 第116回 平成22年3月23日(火)

- 【議案】①教員の採用について  
②特任教員等の選考について  
③経済学科長の選考について  
④各種委員会委員の選出について  
⑤北京語言大学派遣留学について  
⑥経営系専門職大学院認証評価について

## 経営審議会委員からひと言

### ●リーダーを目指そう

東京海上日動火災保険株式会社 特別参与 岡田 修三



歴史は、国の繁栄・滅亡も、企業の発展と消滅も全てそれを率いる人にかかっていることを教えてくれています。本学は、大学の役割である知の伝授と人材の育成への取り組み姿勢を、北の翼に明確に示しており、学生諸君は本学を信頼して学ぶことができます。

加えて要望すれば、本学にはリーダー輩出を強く意識した教育を、学生諸君にはリーダーを常に目指す高い志をもつことを、お願いしたいと思います。リーダーを目指すことは、ノブレス・オブリージ(noblesse oblige)を身に付け、高い見識と判断力を涵養することにほかなりません。本学と学生諸君がこの目標に心を合わせ取り組みれば、さらに素晴らしい大学となっていくものと確信しています。

# 薬物乱用防止・飲酒運転撲滅

## 啓発ポスターを作成しました

近年、大学生による薬物乱用事件が後を絶ちません。また、飲酒運転についても、変わらず悲惨な事故のニュースを耳にします。このため、本学では、両問題についての学生の意識を高めるとともに、身近な問題として危機感を持つよう、薬物乱用防止・飲酒運転撲滅キャンペーンを実施しています。

今回、その一環として両問題に関する啓発ポスターを作成しました。ポスターの絵柄は、「美術研究会」の学生が描いたものです。また、ポスターに使用しているキャッチコピーは、学生の中から募集し、それぞれ140点を超える応募作品の中から選考したものです。

本学では、本ポスターの掲示をはじめ、授業等のあらゆる機会を通じて、引き続き薬物乱用防止、飲酒運転撲滅に取り組んでいきたいと考えています。

なお、今回のポスター掲示にあたっては、周辺地域の方々にもご協力いただき、公共交通機関の各駅や近隣の居酒屋等、たくさんの施設に掲示することができました。



### ■ポスター作成者及びデザインの趣旨

#### ◎飲酒運転撲滅啓発ポスター

少女の瞳には、飲酒をする男性が映っています。『この男性が飲酒運転をし、事故を起こしてしまったら、どれくらいの人が傷ついてしまうのだろうか？ その責任が取れるのだろうか？ どうかこのあと車を運転しないでほしい。』という少女の切なる願いが込められています。

〔文学部人間関係学科 松岡 美可子さん(美術研究会)〕

#### ◎薬物乱用防止啓発ポスター

「一度だけ」と思って安易に薬物に手を出した結果、心、身体、そして未来までもがガラスのようにもろく壊れていく人の姿を描いています。

〔文学部比較文化学科 宮崎 哉子(かなこ)さん(美術研究会)〕

◎出張講義、大学見学のご要望は随時受け付けています。お気軽にお尋ねください。

◎学報に関する皆様からのご意見をお寄せください。

お問い合わせは、大学広報入試課(Tel.093-964-4196)へお願いします。

公立大学法人北九州市立大学学報 青嵐 第20号

The University of Kitakyushu Information, 2010 Vol.20

発行/北九州市立大学広報入試課 発行日/平成22年3月31日 〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1 Tel.(093)964-4196/Fax(093)964-4020



URL <http://www.kitakyu-u.ac.jp>

E-mail [kouhou@kitakyu-u.ac.jp](mailto:kouhou@kitakyu-u.ac.jp)